

令和2年度 第1回仙台市都市計画協議会 議事概要

日 時 令和2年6月3日(水) 14:50~16:00
会 場 TKPガーデンシティ仙台勾当台ホール2

議 題 仙台市都市計画マスタープランの策定について

【次期仙台市都市計画マスタープラン骨子(案)等】

配付資料 資 料 1 次期仙台市都市計画マスタープラン骨子(案)

別 紙 1 本市が目指す都市構造のイメージ(案)

別 紙 2 土地利用方針図(案)

【主な意見等】

資料1 次期仙台市都市計画マスタープラン骨子(案)について

(都市づくりの目標像について)

- ・災害への強さやコロナウイルスへの適切な対応など安全であるということは仙台の魅力なので、都市づくりの目標像に入っているだけでも良いのではないかと。
- ・先を見通せなくなっている状況で、今後は目の前に新しく出てきたことに対して、力を合わせて対応できるような対応力を高めておくことが都市として大事である。
- ・「挑戦」という新しいことだけでなく、「持続可能」のような変化も起こしながら長く続けていくというキーワードも必要ではないかと。

(都市づくりの基本方針、部門別の方針について)

- ・「質の高い公共交通」とあるが、地下鉄だけでなく地域交通などの部分にも力を入れていく必要があるのではないかと。
- ・「5.協働まちづくり」には、伝統や文化などの推進も入れた方が良いのではないかと。

別紙1 本市が目指す都市構造のイメージ(案)について

- ・自然環境を守ることも大事であるが、そういった地域でも地域の特性に配慮しながら生活に必要な都市機能を配置できないかと。
- ・機能集約型の都市構造のイメージを継続した方向性として持つておくことは基本である。
- ・郊外居住区域とその外側に集落・里山・田園ゾーンという風に示されると、緑が外枠のような印象を受ける。

別紙2 土地利用方針図(案)について

- ・資料に示されている拠点以外に、地下鉄東西線上や郊外地域にも拠点があっても良いのではないかと。

その他

- ・市民意見の聴取について、パブリックコメントやシンポジウムといった通常の方法だけでなく、有識者などから意見を集め、教えを乞う場を設けるといった何かを巻き込むような方法も考えてほしい。